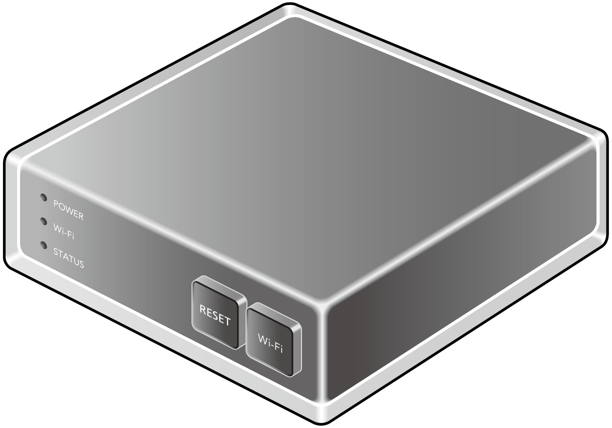
Remote TV

取扱説明書



目次

安全上のご注意

ご利用の準備

基本操作

その他機能

付録

ごあいさつ

このたびは、Remote TV(以下、「本製品」と表記します)をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
ご使用の前に『初期設定ガイド』『セーフティガイド』『取扱説明書』(本書)をお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。

- 本書では、本製品に付属する『初期設定ガイド』、『セーフティガイド』、auホームページに掲載されている『取扱説明書』(本書)を総称して、「取扱説明書」と表記します。
- 本書では®マークやTMマークを省略して記載している場合があります。

取扱説明書の構成について

■「初期設定ガイド」

本製品の初期設定手順、およびクライアントソフトウェアの導入と操作方法を説明しています。

■「セーフティガイド」

本製品をご利用になるうえで、知っておいていただきたい安全上のご注意などを説明しています。

■「取扱説明書」(本書)

初期設定ガイドには載っていない設定や機能の詳細を説明しています。

安全上のご注意

本製品をご利用になる前に、本書の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくご使用ください。
故障とお考えになる前に、本製品のホームページからFAQを参照して症状をご確認ください。
http://www.au.kddi.com/remotetv/

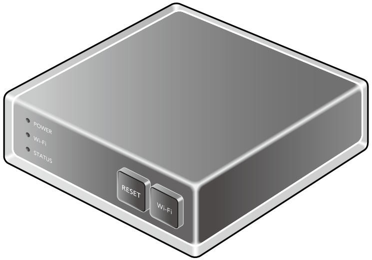
本製品をご利用いただくにあたって

- 本製品は国内でのご利用を前提としています。国外に持ち出しての使用はできません。
  (This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.)
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が「取扱説明書」をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。

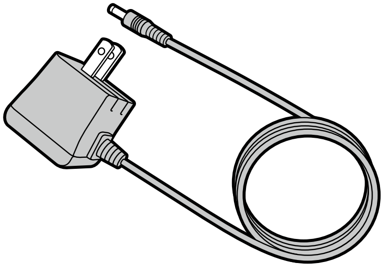
本体付属品について

ご使用いただく前に下記の同梱物がすべてそろっていることをご確認ください。

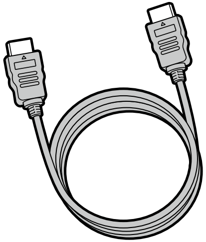
■Remote TV本体(1台)



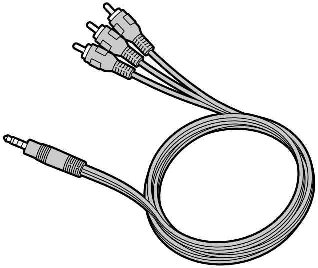
■ACアダプタ(1本)



■HDMIケーブル(1本)(試供品)



■AVケーブル(1本)(試供品)



- 初期設定ガイド(別紙)
- セーフティガイド(別紙)
- 保証書/Remote TV 問診票(別紙)

以下のものは同梱されていません。

• USBケーブル(Remote TV本体側:microBタイプ)※ ※Wi-Fiルータを手動設定する場合、本製品とパソコンの接続に必要となります。

・本文中で使用しているイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。

目次

ごあいさつ……1
取扱説明書の構成について……1
安全上のご注意……1
本製品をご利用いただくにあたって……1
本体付属品について……2
目次……3

安全上のご注意……4
本書の表記方法について……5
免責事項について……5
安全上のご注意（必ずお守りください）……5
取り扱い上のお願い……10
HDMI-CEC機能（各社「○○リンク」など）について……11
無線LAN（Wi-Fi）機能について……11
情報処理装置等電波障害自主規制について……12
視聴にあたり・著作権について……12

ご利用の準備……13
本製品の使いかた……14
映像を視聴するまでの流れ……14
本製品の接続イメージ図……14
各部の名称と機能……15
必要なものを用意する……16
本製品を設置／接続する……16
Wi-Fiを設定する……18
auかんたん接続：HOME SPOT CUBEと接続する場合……18
WPS設定：WPS対応のWi-Fiルータと接続する場合……19
手動設定：WPS非対応のWi-Fiルータと接続する場合……20
視聴端末にアプリをインストールする……23
Android端末の場合……24
iOS端末の場合……24
Windows OS／Mac OSの場合……25
視聴端末と本製品を接続する……25

基本操作……29
基本的な操作について……30
視聴を開始する……31
視聴画面の画質を変更する……31
リモコンモードに切り替える……32
視聴モードに切り替える……33
チャンネルを換える……34
チャンネルを換える（番組表から選択）……35
録画一覧を表示する……36
再生する……37
ホーム画面を表示する……38
各アイコンの機能について……39

その他機能……41
接続するRemote TVを選ぶ……42
クライアントソフトウェアの設定画面を表示する……42
視聴端末を別のRemote TVへ登録する……43
視聴端末の名称を変更する……45
視聴端末を削除する……46
本製品の名称を変更する……47
本製品のパスワードを変更する……48
本製品を再起動する……50
本製品のファームウェアをアップデートする……50
本製品を初期化する……51

付録……53
困ったときは……54
ランプの表示について……54
トラブルシューティング……55
エラーメッセージが表示されたときは……56
アフターサービスについて……58
主な仕様……58
輸出管理規制……59
知的財産権について……59

安全上のご注意

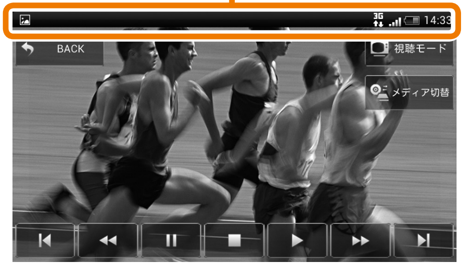
本書の表記方法について........5
免責事項について........5
安全上のご注意（必ずお守りください）........5
取り扱い上のお願い........10
HDMI-CEC機能（各社「○○リンク」など）について........11
無線LAN（Wi-Fi）機能について........11
情報処理装置等電波障害自主規制について........12
視聴にあたり・著作権について........12

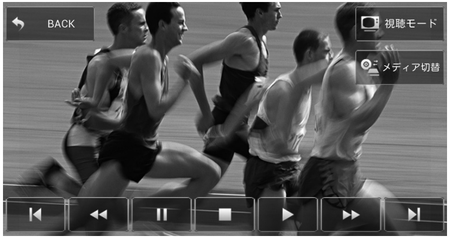
本書の表記方法について

■ 掲載されている画面表示について

本書に記載されている画面は、実際の画面とは異なる場合があります。また、画面の一部を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。

本書の表記では、画面上部のアイコン類などは省略されています。





免責事項について

◎地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

◎本製品の使用または使用不能から生ずる附随的な損害（記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。

◎『初期設定ガイド』『セーフティガイド』『取扱説明書』（本書）の記載内容を守らないことにより、生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

◎当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

※本書で表す「当社」とは、以下の企業を指します。
発売元：KDDI（株）・沖縄セルラー電話（株）
製造元：（株）KDDIテクノロジー

memo

◎本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。

◎本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。

◎本書の内容につきましては万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、ご連絡ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

● この「安全上のご注意」には、本製品を使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。

● 各事項は以下の区分に分けて記載しています。

■ 表示の説明

⚠危険	この表示は「人が死亡または重傷(※1)を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
⚠警告	この表示は「人が死亡または重傷(※1)を負うことが想定される内容」を示しています。
⚠注意	この表示は「人が傷害(※2)を負うことが想定される内容や物的損害(※3)の発生が想定される内容」を示しています。

※1 重傷:失明·けが·やけど(高温·低温)·感電·骨折·中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものを指します。
※2 傷害:治療に入院や長期の通院を要さない、けが·やけど(高温·低温)·感電などを指します。
※3 物的損害:家屋·家財および家畜·ペットにかかわる拡大損害を指します。

■ 図記号の説明

禁止	禁止(してはいけないこと)を示す記号です。
ぬれ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水ぬれ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
指示	必ず実行していただくこと(強制)を示す記号です。
プラグをコンセントから抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただく(強制)内容を示しています。

■ 本体、ACアダプタ、周辺機器共通

⚠危険 必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

指示	必ず指定の周辺機器をご使用ください。指定の周辺機器以外を使用した場合、発熱·発火·破裂·故障の原因となります。
禁止	高温になる場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。発火·破裂·故障·火災·傷害の原因となります。
禁止	電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。発火·破裂·故障·火災·傷害の原因となります。
禁止	火の中に投入したり、加熱したりしないでください。発火·破裂·火災の原因となります。
禁止	電源ジャックおよびHDMI IN/OUT端子、USB端子、A/V IN端子などの接続端子をショートさせないでください。また、接続端子に導電性異物(金属片·鉛筆の芯など)が触れたり、内部に入らないようにしてください。火災や故障の原因となります。
禁止	ACアダプタをコンセントに差し込む場合、電源プラグに金属製のアクセサリーなどを接触させないでください。火災·感電·傷害·故障の原因となります。
分解禁止	お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障·発火·感電·傷害の原因となります。万一、改造などにより本製品本体や周辺機器などに不具合が生じても当社では一切の責任を負いかねます。

⚠警告 必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

禁止
落下させる、投げつけるなどの強い衝撃を与えないでください。破裂・発熱・発火・故障の原因となります。

禁止
電源ジャックおよびHDMI IN/OUT端子、USB端子、A/V IN端子などの接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

禁止
本製品が落下などによって破損し、機器内部が露出した場合、露出部に手を触れないでください。感電したり、破損部でけがをする場合があります。お客さまセンターまでご連絡ください。

水ぬれ禁止 ぬれ手禁止
水などの液体をかけないでください。また、水やペットの尿などが直接かかる場所や風呂場など湿気の多い場所での使用、または濡れた手での使用は絶対にしないでください。感電や電子回路のショート、腐食による故障の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には直ちにACアダプタの電源プラグを抜いてください。水濡れや湿気による故障は、保証の対象外となり有償修理となります。

禁止
乳幼児の手が届く場所には置かないでください。小さな部品などの誤飲で窒息したり、誤って落下させたりするなど、事故や傷害の原因となる場合があります。

⚠注意 必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

禁止
直射日光の当たる場所や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。発熱・発火・変形や故障の原因となる場合があります。

禁止
風通しの悪いところに置かないでください。
- 押し入れや本棚などに押し込まない
- じゅうたんや布団などの上に置かない
- テーブルクロスなどをかけない
- 梱包品やビニール袋などに入れたまま使用しない

内部に熱がこもり、火災、感電、故障や変形の原因となることがあります。

禁止
ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。落下してけがや破損の原因となります。また、衝撃などにも十分ご注意ください。

禁止
使用中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。火災、故障、傷害の原因となります。

禁止
外部から電源が供給されている状態の本体、ACアダプタに長時間触れないでください。低温やけどの原因となる場合があります。

禁止
本製品を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどの原因となる場合があります。

禁止
コンセントや配線器具は定格を超えて使用しないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

禁止
腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障・内部データの消失の原因となります。

禁止
ケーブルをつけたまま持ち運ばないでください。火災、感電の原因や、つまずいてけがの原因となる場合があります。
ACアダプタの接続端子や、機器間のケーブルを外したことを確認のうえ、移動してください。

指示
使用中に煙が出たり、異臭や異音がする、過剰に発熱しているなどの異常が起きたときは使用しないでください。異常が起きた場合、ACアダプタをコンセントから抜き、熱くないことを確認してから電源を切り、お客さまセンターまでご連絡ください。また、落下したり、破損した場合なども、そのまま使用せず、お客さまセンターまでご連絡ください。

指示
外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。また、正しい方向で抜き差ししてください。破損・故障の原因となります。

指示 皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じる場合があります。

本製品で使用している各部品の材質は以下の通りです。

使用箇所		使用材料
本体	ケース	外側(透明部分):PMMAアクリル
	ボディ	内側(有色部分):ポリカーボネート
	ゴム足	シリコン
	フロントボタン	PMMA(アクリル)、ABS
ACアダプタ	ケース	ポリカーボネート
	プラグ	黄銅(ニッケルメッキ)
	ケーブル	PVC
	絶縁キャップ	ナイロン樹脂
	電源ジャック	黄銅(ニッケルメッキ)
HDMIケーブル	ケーブル	PVC
	コネクタ	端子部:銅合金(金フラッシュメッキ)、金属シェル:SPCC(ニッケルメッキ)
AVケーブル	ケーブル	PVC
	RCAプラグ	黄銅(ニッケルメッキ)
	ミニジャック	黄銅(ニッケルメッキ)

■本体について

⚠警告 必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

禁止 航空機内で本製品を使用しないでください。航空機内での電波を発する電子機器の使用は法律で禁止されています。

禁止 自動車内で使用しないでください。まれに車載電子機器に影響を与える場合があり、安全走行を損なうおそれがあります。

指示 高精度な電子機器の近くでは、本製品の電源をお切りください。電子機器に影響をあたえる場合があります。(影響を与えるおそれがある機器の例:心臓ペースメーカー・補聴器・その他医用電気機器・火災報知機・自動ドアなど。医用電気機器をお使いの場合は機器メーカまたは販売者に電波による影響についてご確認ください。)

指示 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器や医用電気機器の近くで本製品を使用する場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがありますので、次のことをお守りください。

1. **植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている方は、本製品を植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器から22cm以上離して使用してください。**
2. **医療機関の屋内では次のことに注意してご使用ください。**
   - 手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には本製品を持ち込まないでください。
   - 病棟内では、本製品を使用しないでください。
   - ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は本製品を使用しないでください。
   - 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
3. **医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合(自宅療養など)は、電波による影響について個別に医療用電気機器メーカなどにご確認ください。**

⚠注意 必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

禁止 使用中は、本体が熱くなることがありますので、長時間直接肌に触れさせたり、紙・布・布団などをかぶせたりしないでください。火災・やけど・故障の原因となる場合があります。

禁止 ハードディスクレコーダの上など発熱する電子機器の上には設置しないでください。

指示 本体の上面、側面、背面は必ず10cm以上のすき間を空けて設置してください。密閉された場所には設置しないでください。

■ACアダプタについて

⚠警告 必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

禁止 指定以外の電源電圧では使用しないでください。発火・火災・発熱・感電などの原因となります。
- ACアダプタ：AC100～240V

指示 ACアダプタの電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと、感電や発熱・発火による火災の原因となります。ACアダプタが傷んでいるときや、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。

禁止 付属のACアダプタを、本製品以外に使用しないでください。火災や感電の原因となります。

禁止 ACアダプタの電源ケーブルを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。また、傷んだケーブルは使用しないでください。感電・ショート・火災の原因となります。

禁止 接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

禁止 雷が鳴り出したら電源プラグに触れないようにしてください。落雷による感電などの原因となります。

プラグをコンセントから抜く お手入れをするときは、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。抜かないでお手入れをすると、感電や回路のショートの原因となります。

指示 ACアダプタは、必ず付属のものを使用してください。火災や感電の原因となります。

指示 電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。火災、やけど、感電の原因となります。

プラグをコンセントから抜く 長時間使用しない場合はACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いておいてください。感電・火災・故障の原因となります。

水ぬれ禁止 水やペットの尿など液体が直接かからない場所でご使用ください。発熱・火災・感電・電子回路のショートによる故障の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には直ちにACアダプタの電源プラグを抜いてください。

⚠注意 必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

水ぬれ禁止 ぬれ手禁止 風呂場などの湿気の多い場所で使用したり、濡れた手でACアダプタを抜き差ししないでください。感電や故障の原因となります。

指示 ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。電源ケーブルを引っ張るとケーブルが損傷するおそれがあります。

指示 お子様がご使用になる場合は危険な状態にならないように保護者の方が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても指示どおりに使用しているかご注意ください。けがなどの原因となります。

禁止 ACアダプタ本体または電源ケーブルの上に重いものを載せないでください。感電・発火・故障の原因となります。

禁止 電源ケーブルを束ねたまま使用しないでください。感電・発熱・発火・火災の原因となります。

禁止 傷んだ電源ケーブルは使用しないでください。感電・発熱・発火・火災の原因となります。

禁止 コンセントにつながれた状態でACアダプタのコネクタや電源プラグをショートさせないでください。また、コネクタや電源プラグに手や指などの身体の一部を触れさせないでください。火災・故障・感電・傷害の原因となります。

取り扱い上のお願い

性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。よくお読みになって、正しくご使用ください。

■本体、ACアダプタ、周辺機器共通

- 無理な力がかからないように使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、重い物の下になったりしないよう、ご注意ください。
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。
  (周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。)
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。
- 電源ジャックおよびHDMI IN/OUT端子、USB端子、A/V IN端子などの接続端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき強い力を加えて接続端子を変形させないでください。
- お客様のご使用状況・環境などにより変色する場合があります。
- お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、傷がつく場合があります。水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。またアルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、外装の印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 一般電話・ラジオ・電子レンジをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- ご使用状況によっては本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が「取扱説明書」をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。

■本体について

- 強く押す、たたくなど故意に強い衝撃を与えないでください。傷の発生や破損の原因となる場合があります。
- ボタン表面に爪や鋭利な物、硬い物などを強く押し付けないでください。傷の発生や破損の原因となります。
- 本製品底面に貼ってある製造番号の印刷されたシールには、お客様が使用されている本製品の機器IDが明記されています。また本製品がVCCI協会の基準に適合したクラスB情報技術装置であることを証明するものですので、はがさないでください。
- 本製品を改造することは電波法で禁止されています。
- 磁気カードやスピーカー、電子レンジなど磁力を有する機器を本製品に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。
  強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴が付くことがあります(結露といいます)。このような条件下でのご使用は湿気による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。
- 電源ジャックおよびHDMI IN/OUT端子、USB端子、A/V IN端子などにケーブルを接続するときは、接続する端子に対してコネクタがまっすぐになるように抜き差ししてください。
- 電源ジャックおよびHDMI IN/OUT端子、USB端子、A/V IN端子などにケーブルを接続した状態で無理な力を加えると破損の原因となりますのでご注意ください。
- 静電気に注意してください。
  本製品は精密機器です。静電気の影響によって、製品の誤動作、故障などの原因となる場合があります。本製品を設置する際は、コネクタや取り付け部分に触れないなどの注意をしてください。

■ ACアダプタについて

- ご使用にならないときは、ACアダプタの電源プラグをコンセントから外してください。
- ACアダプタの電源ケーブルをアダプタ本体に巻きつけないでください。感電、発熱、火災の原因となります。
- ACアダプタのプラグやコネクタと電源ケーブルの接続部を無理に曲げたりしないでください。感電、発熱、火災の原因となります。

HDMI-CEC機能（各社「○○リンク」など）について

本製品はHDMI-CEC※機能により、接続されたHDMI機器とリモコン信号の送受信を行います。
以下の点にご注意のうえ、ご使用ください。

- HDMI-CEC機能の名称はメーカごとに異なりますが、一般的には「○○リンク」という名称で提供されています。
- 本製品から、接続するHDMI機器のHDMI-CEC機能のオン／オフを変更することはできません。あらかじめHDMI機器側でHDMI-CEC機能をオン（使用する）に設定しておいてください。
- HDMI-CEC機能をオンにしていても、機器によっては機能が正常に動作しない場合があります。

※HDMI-CECとは、「HDMI Consumer Electronics Control」の略称です。

無線LAN（Wi-Fi）機能について

- 無線LAN機能は日本国内でご使用ください。本製品の無線LAN機能は日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。海外でご利用になると罰せられることがあります。
- 無線LANが使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が運用されています。場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- 通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信できる距離は異なります。

■2.4GHz帯ご使用上の注意

本製品の無線LAN機能は2.4GHz帯を使用します。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「ほかの無線局」と略す)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、お客さまセンターまでご連絡ください。

memo

◎本製品はすべての無線LAN対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべての無線LAN対応機器との動作を保証するものではありません。

◎無線通信時のセキュリティとして、無線LANの標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。無線LANによるデータ通信を行う際はご注意ください。

◎無線LANは、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

◎無線LAN通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

◎Bluetoothと無線LANは同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth、無線LANのいずれかの使用を中止してください。

■無線LAN機能:2.4DS/OF4

2.4DS/OF4

本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。
全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

情報処理装置等電波障害自主規制について

この装置は、クラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
ＶＣＣＩ－Ｂ

- 本製品は付属のACアダプタ、シールド付のHDMIケーブルおよびフェライトコア付のAVケーブルを使用した状態でVCCI基準に適合しています。

視聴にあたり・著作権について

視聴する映像、音声などの著作物は個人で楽しむ場合を除き、著作権利者の許諾を得ないでディスクに複製(録音、録画、静止画含む)、配布、配信することは、著作権法で禁止されていますので、視聴にあたり十分ご注意ください。

ご利用の準備

本製品の使いかた......14
本製品を設置／接続する......16
Wi-Fiを設定する......18
視聴端末にアプリをインストールする......23
視聴端末と本製品を接続する......25

本製品の使いかた

本製品は、ご自宅に設置されているHDDレコーダなどと接続することで、インターネット経由で映像を視聴することができます。外出先でもお手持ちのスマートフォンなどから見たい映像をいつでも視聴することができます。

映像を視聴するまでの流れ

Step1 「必要なものを用意する」(▶P.16)

▼

Step2 「本製品を設置／接続する」(▶P.16)

▼

Step3 「Wi-Fiを設定する」(▶P.18)

HOME SPOT CUBEをお使いの場合(▶P.18)
WPS対応のWi-Fiルータをお使いの場合(▶P.19)
WPS非対応のWi-Fiルータをお使いの場合(▶P.20)

▼

Step4 「視聴端末にアプリをインストールする」(▶P.23)

Android端末の場合(▶P.24)
iOS端末の場合(▶P.24)
Windows OS／Mac OSの場合(▶P.25)

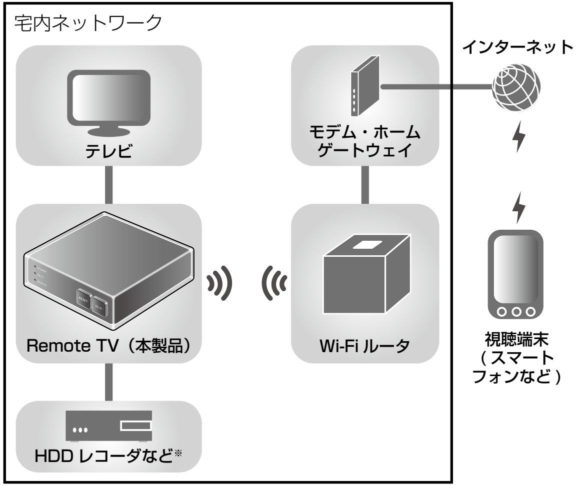
▼

Step5 「視聴端末と本製品を接続する」(▶P.25)

▼

映像を視聴することができます！

本製品の接続イメージ図



※本書では、HDDレコーダと接続する場合を例に記載しています。

各部の名称と機能

■ 正面

①POWERランプ
正常に起動すると、緑点灯します。
※電源投入後、POWERランプが緑点灯するまでは1～2分程度かかります。
その間すべてのランプが約5秒間橙点灯し、その後POWERランプが橙点灯します。

②Wi-Fiランプ
Wi-Fiルータとの接続状態に合わせて、点灯、点滅、消灯します。

③STATUSランプ
初期化･映像送信の状態などに合わせて、点灯、点滅、消灯します。

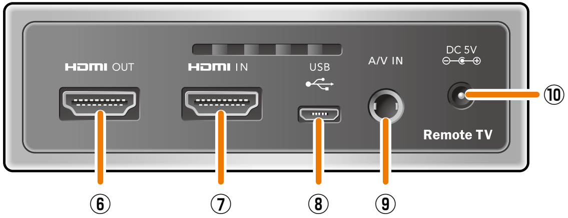
④RESETボタン
ボタンを短く押すことで再起動します。
また5秒以上長押しすることで、すべての設定情報を初期化します。

⑤Wi-Fiボタン
2秒以上長押しすることで、Wi-Fiルータへの接続設定を行います。
(Wi-Fiルータと接続済みの場合は、Wi-Fiルータとの再接続を行います。)

memo

◎各ランプの表示については、「ランプの表示について」(▶P.54)をご覧ください。

■ 背面



⑥HDMI OUT端子
HDMIケーブルでテレビを接続します。

⑦HDMI IN端子
HDMIケーブルでHDDレコーダを接続します。

⑧USB端子(microBタイプ)
Wi-Fiルータへの接続設定を手動で行う場合に、パソコンをUSBケーブルで接続します。

⑨A/V IN端子
同梱のAVケーブルでHDDレコーダを接続します。

⑩電源ジャック
同梱のACアダプタを接続します。

■ 重要

◎視聴端末へ出力する映像と音声は、A/V IN端子から入力されます。
A/V IN端子にHDDレコーダを必ず接続してください。

memo

◎HDMI IN/OUT端子で利用可能な接続方法については、本製品のホームページからFAQを参照してください。
http://www.au.kddi.com/remotetv/

必要なものを用意する

以下のものは同梱されていません。必要に応じてお客様ご自身でご用意ください。

- HDMIケーブル※1
- HDDレコーダなど※2/3/4
- Wi-Fiルータ
- パソコン※5
- USBケーブル(Remote TV本体側:microBタイプ)※5

※1 HDDレコーダとテレビを本製品に接続するには、HDMIケーブルが2本必要です。同梱のHDMIケーブル以外に、もう1本シールド付きのHDMIケーブルをご用意ください。
※2 HDDレコーダ以外にも、ビデオカメラなどアナログ映像出力がある機器からの映像視聴が可能です。
・BDレコーダ
・DVDレコーダ
・地デジチューナ
・セットトップボックス(STB)
・ビデオカメラ
※3 映像視聴機能をご利用いただくには、下記に対応したレコーダとの接続が必要となります。
・アナログ(NTSC映像信号)出力に対応していること
※4 リモコン機能をご利用いただくには、下記に対応したレコーダとの接続が必要となります。
・HDMI-CEC機能(各社○○リンクなど)に対応していること
・HDMI端子と映像端子から同時に映像出力可能なこと
適合機種については以下をご覧ください。
http://www.au.kddi.com/remotetv/
※5 Wi-FiルータがWPS機能に対応していない場合は、手動でWi-Fiルータへの接続設定を行うために必要となります。

本製品を設置/接続する

本製品と各機器を接続します。

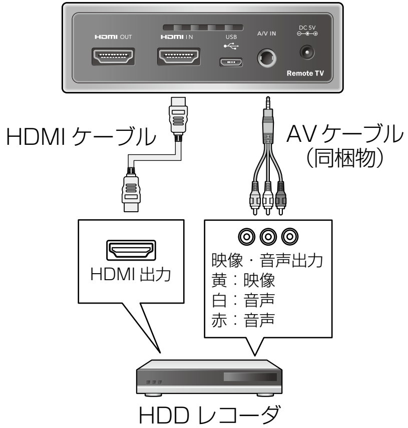
memo

◎本製品のHDMI IN/OUT端子と、A/V IN端子は、それぞれ正しく接続してください。誤った接続をすると、HDDレコーダやテレビが誤作動をおこす場合があります。

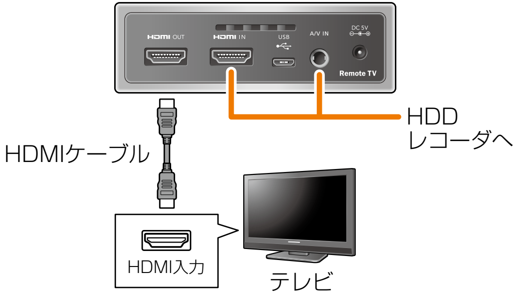
◎本体底面に記載されている機器IDは設定に必要となりますので、事前に確認しメモなどに控えておいてください。

1 すべての接続機器の主電源をオフにする。

2 本製品とHDDレコーダをAVケーブル/HDMIケーブルで接続する。



3 本製品とテレビをHDMIケーブルで接続する。

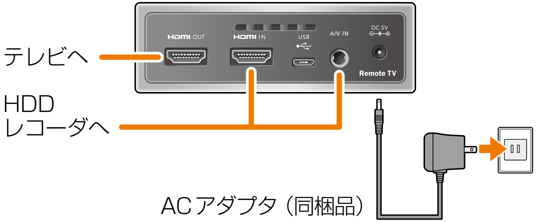


4 HDDレコーダの主電源をオンにする。

5 テレビの主電源をオンにする。

6 本製品にACアダプタを接続し、電源プラグをコンセントに差し込む。

本製品には電源ボタンがありません。電源を切/入するときは、ACアダプタと電源コンセントを抜き差ししてください。



■ 注意

◎本製品を利用するには、本製品とHDDレコーダをAVケーブルとHDMIケーブルの両方で接続する必要があります。

◎説明手順以外の順番で接続すると、機器を正しく操作できないことがあります。端末からリモコン制御できない場合は、テレビの主電源を一度オフ／オンした後に、本製品のRESETボタンを短く押して本製品を再起動してください。本手順で接続しても映像を視聴できない場合は、本製品のホームページからFAQを参照してください。

◎本製品はご利用中にHDDレコーダの電源を自動的にオンにします。お使いのテレビがHDDレコーダの電源に連動して電源オンになる設定にされている場合、本製品をご利用中にテレビの電源もオンになります。

◎接続するHDDレコーダのHDMI-CEC機能は、必ずオンに設定しておいてください。
HDMI-CEC機能（各社○○リンクなど）の名称や設定方法は、お使いのHDDレコーダによって異なります。詳しくは、お使いのHDDレコーダの取扱説明書やメーカのホームページなどをご覧ください。

memo

◎適合機種については以下をご覧ください。
http://www.au.kddi.com/remotetv/

Wi-Fiを設定する

本製品とWi-Fiルータの接続設定を行います。

■ 重要

◎Wi-Fiルータへの接続設定を行うときは、Wi-Fiルータの電源を入れ、インターネットに接続されている環境で行ってください。インターネットに接続されていない環境で行うと、設定が正しく行われません。

memo

◎本設定は以下の環境で行ってください。
- 本製品がWi-Fiルータの通信圏内に設置されている。
- 本製品とWi-Fiルータの間に障害物が無いようにする。

◎Wi-Fiルータと接続済みの場合は、Wi-Fiボタンを2秒以上長押しすることで、Wi-Fiルータとの再接続を行うことができます。

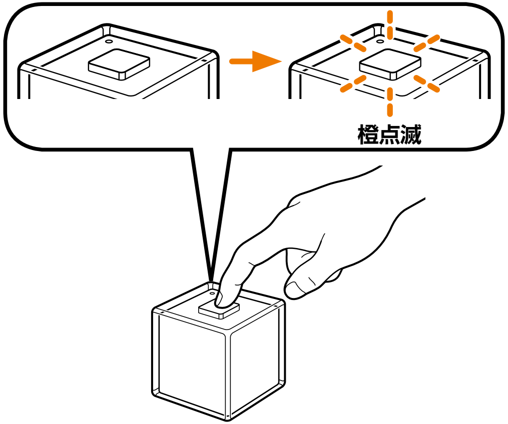
本項目はお使いのWi-Fiルータの種類によって設定手順が異なります。お使いのWi-Fiルータをご確認のうえ、以下のページの手順に従ってください。

- HOME SPOT CUBEをお使いの場合（▶P.18）
- WPS対応のWi-Fiルータをお使いの場合（▶P.19）
- WPS非対応のWi-Fiルータをお使いの場合（▶P.20）

auかんたん接続:HOME SPOT CUBEと接続する場合

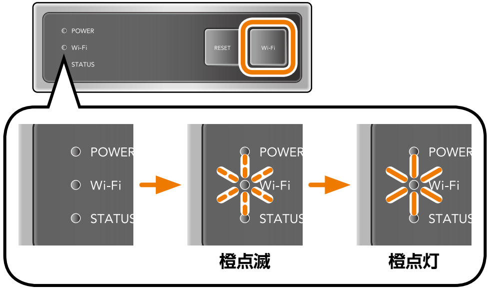
1 HOME SPOT CUBEのかんたん接続（SETTING）ボタンを長押しする。

HOME SPOT CUBEのかんたん接続（SETTING）ランプが橙点滅するまでボタンを押し続けてください。ランプが点滅したらWi-Fiルータの設定が始まります。



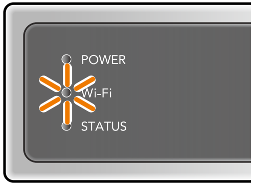
2 本製品のWi-Fiボタンを2秒以上長押しする。

Wi-Fiランプが橙点滅するまでボタンを押し続けてください。ランプが橙点滅すると、本製品のWi-Fi接続設定が始まります。
機器ID設定中の状態になると、ランプが橙点灯になります。



3 設定の完了を確認する。

Wi-Fiランプが緑点灯になり、設定が完了します。



memo

◎HOME SPOT CUBEとかんたん接続を行うと、WPA2方式のセキュリティ設定で接続が行われます。

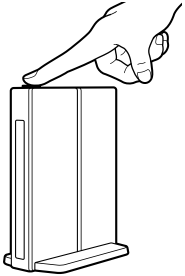
◎Wi-Fiランプが橙点滅してから設定の完了まで2～3分程かかる場合があります。Wi-Fiランプが緑点灯するまでそのまましばらくお待ちください。

◎Wi-Fiランプが赤点滅した場合は、「困ったときは」（▶P.54）をご覧ください。

WPS設定：WPS対応のWi-Fiルータと接続する場合

1 WPS対応Wi-FiルータのWPSボタンを長押しする。

WPS対応Wi-Fiルータのステータスランプが点滅するまでボタンを押し続けてください。ランプが点滅したら、Wi-Fiルータの設定が始まります。



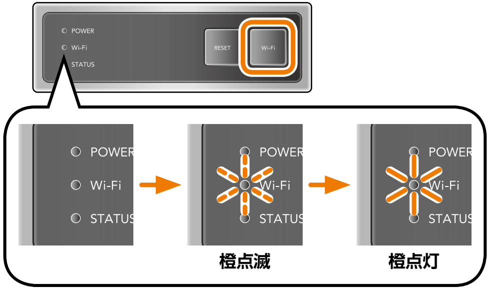
※WPSボタンの位置は一例です。

memo

◎WPSの設定方法はWi-Fiルータのメーカによって異なります。詳細はお使いのWi-Fiルータの取扱説明書をご確認ください。

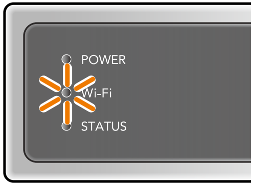
2 本製品のWi-Fiボタンを2秒以上長押しする。

Wi-Fiランプが橙点滅するまでボタンを押し続けてください。ランプが橙点滅すると、本製品のWi-Fi接続設定が始まります。
機器ID設定中の状態になると、ランプが橙点灯になります。



3 設定の完了を確認する。

Wi-Fiランプが緑点灯になり、設定が完了します。



緑点灯

memo

◎Wi-Fiランプが橙点滅してから設定の完了まで2～3分程かかる場合があります。Wi-Fiランプが緑点灯するまでそのまましばらくお待ちください。

◎Wi-Fiランプが赤点滅した場合は、「困ったときは」（▶P.54）をご覧ください。

手動設定：WPS非対応のWi-Fiルータと接続する場合

お使いのWi-FiルータがWPS接続に対応していない場合は、本製品とお手持ちのパソコンを接続して、手動でWi-Fiの設定を行います。
ここでは、Windows 7を例に説明します。

memo

◎あらかじめ接続するWi-FiルータのSSID／セキュリティ方式／パスワードを確認して控えておいてください。

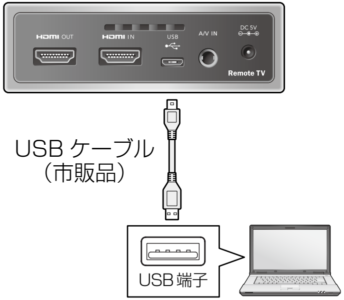
◎SSIDとパスワードに使用できる文字の種類は、半角の英数字と以下の記号です。
! “ # ＄ ％ ＆ ’ ( ) * ＋ , - . / : ; ＜ ＝ ＞ ? ＠ [￥] ^ _ ` { | } ~

◎SSIDは半角32文字まで、パスワードは半角64文字まで入力できます。

1 パソコンに本製品のクライアントソフトウェアをインストールする。

インストール方法は「視聴端末にアプリをインストールする」（▶P.23）をご覧ください。

2 本製品とパソコンをUSBケーブル（市販品）で接続する。



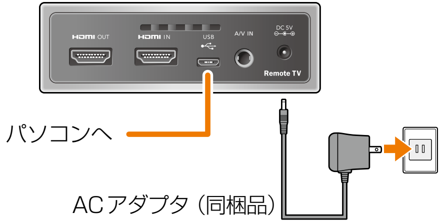
memo

◎本製品のUSBコネクタ形状はmicroBタイプとなります。

◎パソコン側のUSBコネクタ形状は、お使いのパソコンの取扱説明書を参照してください。

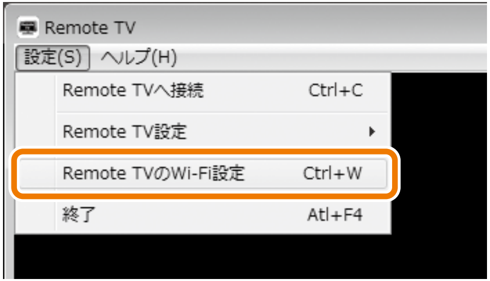
3 本製品の電源を入れる。

付属のACアダプタを本製品とコンセントにつなぎます。

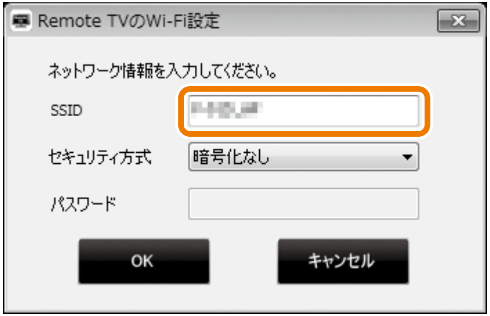


4 パソコンでクライアントソフトウェアを起動する。

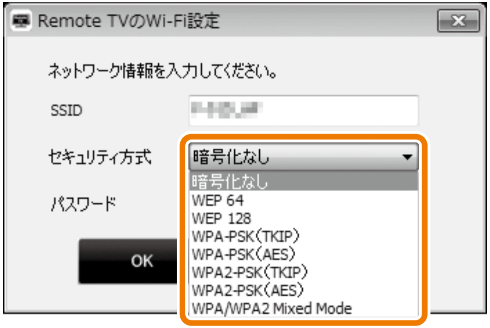
5 画面左上の「設定」メニューから「Remote TVのWi-Fi設定」を選択する。



6 接続するWi-FiルータのSSIDを入力する。

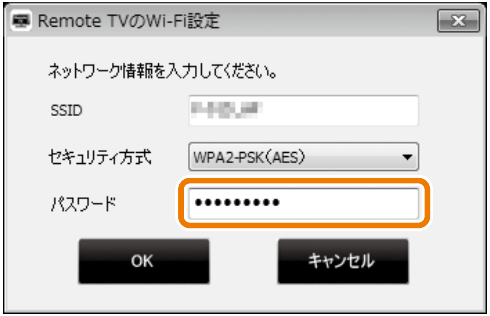


7 Wi-Fiルータのセキュリティ方式を選択する。

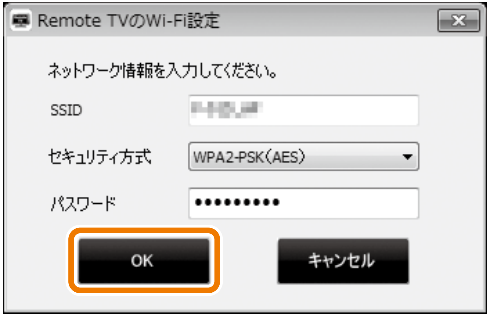


お使いのWi-Fiルータが対応しているセキュリティ方式を選択してください。
暗号化なし／WEP 64／WEP 128／WPA-PSK(TKIP)／WPA-PSK(AES)／WPA2-PSK(TKIP)／WPA2-PSK(AES)／WPA/WPA2 Mixed Mode

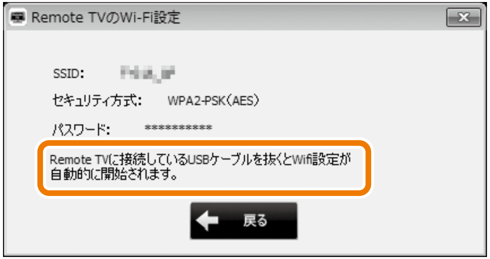
8 Wi-Fiルータのパスワードを入力する。



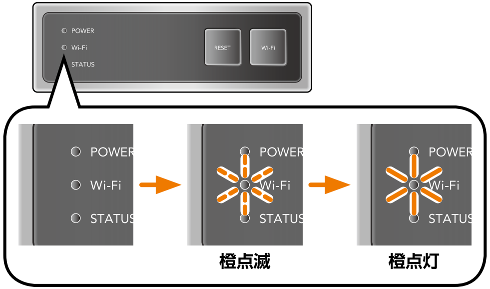
9 「OK」を選択する。



10 USBケーブルを取り外す旨のメッセージが表示されたら、本製品からUSBケーブルを抜く。

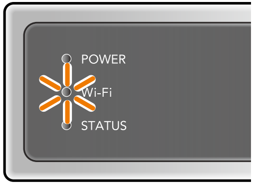


USBケーブルを抜くと、設定したWi-Fiルータに接続を開始します。
Wi-Fiランプが橙点滅すると、本製品のWi-Fi接続設定が始まります。
機器ID設定中の状態になると、ランプが橙点灯になります。



11 本製品の設定の完了を確認する。

Wi-Fiランプが緑点灯になり、設定が完了します。



緑点灯

以上でWi-Fi設定は完了です。
パソコンのウィンドウを閉じてください。

memo

◎USBケーブルを抜いてから設定の完了まで2～3分程かかる場合があります。Wi-Fiランプが緑点灯するまでそのまましばらくお待ちください。

◎Wi-Fiランプが赤点滅した場合は、「困ったときは」(▶P.54)をご覧ください。

◎SSIDやパスワードに誤りがある場合は正しく接続できません。

視聴端末にアプリをインストールする

スマートフォンなどの端末から映像を視聴するには、アプリケーション「Remote TV(au)」(以下「クライアントソフトウェア」と記載)を端末にインストールする必要があります。

memo

◎対応OS／バージョンについては、本製品のホームページFAQでご確認ください。
http://www.au.kddi.com/remotetv/

Android端末の場合

1　Playストアより「Remote TV(au)」をダウンロードする。

「Playストア」をタップします。

クイック検索ボックスを表示させて、「Remote TV(au)」と入力し

(検索)をタップします。

※ご利用の機種により、表示される画面やアイコンは異なります。

2　クライアントソフトウェアをインストールする。

「Remote TV(au)」を選択し、ソフトウェアの説明画面でインストールアイコンをタップし、「同意してダウンロード」をタップしてインストールします。

3　アプリ一覧に「Remote TV」アイコンが表示されたことを確認する。

アプリ一覧に「Remote TV」アイコン が表示されるとインストールは完了です。

iOS端末の場合

1　App Storeより「Remote TV(au)」をダウンロードする。

「App Store」をタップします。

検索フィールドを表示させて、「Remote TV(au)」と入力し「検索」ボタンをタップします。

• App Storeを利用するにはApple IDが必要となります。IDをお持ちでない場合は、下記URLを参照して取得してください。
http://www.au.kddi.com/iphone/support/guide/3.html

2　クライアントソフトウェアをインストールする。

「Remote TV(au)」を選択し、ソフトウェアの情報画面を表示します。情報画面で「無料」をタップし、表示されるインストールアイコンをタップします。

3　ホーム画面に「Remote TV」アイコンが表示されたことを確認する。

ホーム画面に「Remote TV」アイコン が表示されるとインストールは完了です。

■ **重要**

◎iOS端末は、3G／LTEパケット通信経由では視聴することができません。Wi-Fiネットワーク環境で視聴してください。

Windows OS／Mac OSの場合

本製品のホームページからインストール用のファイルをダウンロードして、端末にクライアントソフトウェアをインストールしてください。
インストール方法の詳細については、ホームページをご参照ください。

http://www.au.kddi.com/remotetv/

視聴端末と本製品を接続する

視聴端末から本製品に接続するための手順を説明します。
ここでは、Android端末を例に説明します。

memo

◎本製品の接続設定（▶P.16）とWi-Fi設定（▶P.18）が完了しており、かつ視聴端末がインターネットに接続していることをご確認のうえ、接続を行ってください。

◎本体底面に記載されている機器IDは設定に必要となりますので、事前に確認しメモなどに控えておいてください。

1 視聴端末でクライアントソフトウェアを起動する。

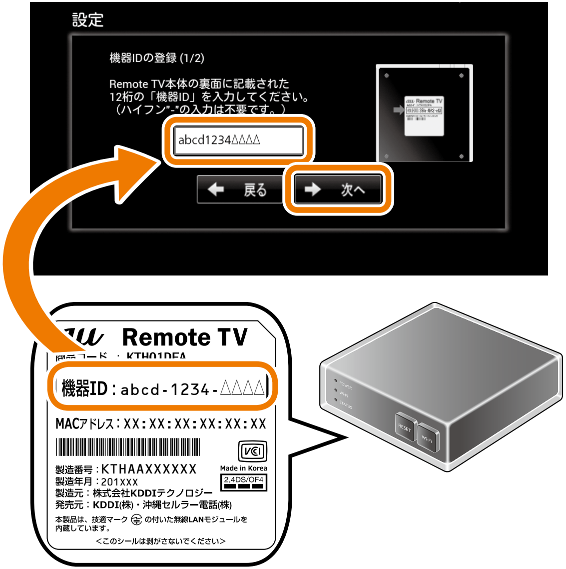
アプリ一覧で

をタップします。

2 設定画面が表示されたら、「次へ」をタップする。

3 本製品の機器IDを入力する。

本製品の底面に記載されている「機器ID」を入力して「次へ」をタップします。



底面

4 本製品にパスワードを設定する。

任意のパスワードを設定して「次へ」をタップし、確認のためのパスワードをもう一度入力して「次へ」をタップします。

5 「OK」をタップする。

接続中のメッセージが表示され、接続が完了すると視聴画面が表示されます。

- 接続完了後から視聴画面が表示されるまで30秒程かかる場合があります。

次回以降は、クライアントソフトウェアを起動すると自動で本製品に接続します。
クライアントソフトウェアを起動して、端末から映像を視聴してください。

memo

◎パスワードは、第三者によるRemote TVの利用を防ぐために必要な設定です。視聴端末を追加する際にも必要となりますので、お忘れにならないようにご注意ください。

◎パスワードは、任意の半角数字4桁を設定してください。ただし「0000」を設定することはできません。

◎iOS端末から3G／LTEパケット通信経由で接続設定を行った場合は、手順5で「OK」をタップしたあとにネットワーク切り替えを求めるメッセージが表示されます。
一度クライアントソフトウェアを終了し、Wi-Fiネットワーク接続に切り換えてから、再度クライアントソフトウェアを起動して映像を視聴してください。

基本操作

基本的な操作について 30
視聴を開始する 31
視聴画面の画質を変更する 31
リモコンモードに切り替える 32
視聴モードに切り替える 33
チャンネルを換える 34
チャンネルを換える（番組表から選択） 35
録画一覧を表示する 36
再生する 37
ホーム画面を表示する 38
各アイコンの機能について 39

基本的な操作について

視聴端末(クライアントソフトウェア)での基本的な操作を説明します。
クライアントソフトウェアには以下の2つのモードがあります。

■視聴モード

テレビや再生した番組を見るためのモードです。映像を動画で見ることができ、音声も出力されます。
- 視聴モードでは、リモコン操作はできません。

■リモコンモード

HDDレコーダのリモコンと同じ操作を行うためのモードです。画面下部に表示されるボタンで、HDDレコーダのリモコンと同じように操作します。
- リモコンモードでは、画面がコマ送りとなり、音声は出力されません。

本書では、Android端末を例に説明します。
- クライアントソフトウェアの起動方法は、「視聴端末と本製品を接続する」(▶P.25)をご覧ください。

■ 重要

◎3G／LTEパケット通信経由で視聴すると、パケット通信料が高額になる場合がありますので、パケット通信料定額／割引サービスの加入をおすすめします。

◎iOS端末は、3G／LTEパケット通信経由では視聴することができません。Wi-Fiネットワーク環境で視聴してください。

memo

◎クライアントソフトウェアを起動し、本製品への接続が成功したときに、本製品は接続されているHDDレコーダの電源を自動的にオンにします。クライアントソフトウェアと本製品との接続が終了したときには、本製品は接続されているHDDレコーダの電源をオフにします。

◎一部のHDDレコーダでは、スマートフォンでの視聴後にHDDレコーダの自動電源オフが機能しない場合があります。またご使用の機器や使用状況によっては、自動電源オン／オフの機能が動作しない場合があります。

◎視聴後はクライアントソフトウェアを終了してください。

◎HDMI-CECに対応していないHDDレコーダと接続している場合は、リモコン操作を行うことができません。またHDMI-CECに対応している機器であっても、お使いの機器やメーカによっては意図した通りに動作しなかったり、一部のリモコンボタンが対応していない場合があります。
適合機種については以下をご覧ください。
http://www.au.kddi.com/remotetv/

◎接続するHDDレコーダのHDMI-CEC機能は、必ずオンに設定しておいてください。
HDMI-CEC機能(各社○○リンクなど)の名称や設定方法は、お使いのHDDレコーダによって異なります。詳しくは、お使いのHDDレコーダの取扱説明書やメーカのホームページなどをご覧ください。

視聴を開始する

本製品を登録した端末でクライアントソフトウェアを起動すると、本製品に自動で接続し、視聴モードの画面が表示されます。

• HDDレコーダの電源がオンになっている旨のメッセージが表示された場合は、内容を確認して問題がなければ「OK」をタップして接続してください。

視聴画面の画質を変更する

視聴画面の画質設定を変更します。

1　画面の任意の場所をタップする。

メニュー画面が表示されます。

2 「画質」をタップする。

画質設定画面に切り替わります。

3 画質を選び、「OK」をタップする。

memo

◎iOS端末ではあらかじめ最適な画質に設定されているため、画質を変更する機能はありません。

◎3G／LTEパケット通信をご利用の場合は、「最高画質」「高画質」を選択することはできません。

◎画質設定を変更しても、電波状況やネットワークの回線負荷状況によっては、設定した画質で視聴できない場合があります。

◎視聴端末の機種によっては、表示される画質設定画面は異なる場合があります。

リモコンモードに切り替える

リモコンを操作するにはリモコンモードにします。
画面下部に表示されるボタンでHDDレコーダのリモコンと同じ操作を行います。

memo

◎リモコンモードでは、画面がコマ送りとなり、音声は出力されません。

◎表示されている画面や機器の状態によっては、リモコンのボタン内容と異なる動作をする場合があります。

◎映像を視聴するには、リモコン操作終了後に視聴モードに切り替えてください。

1 視聴モードの画面で、画面の任意の場所をタップする。

メニュー画面が表示されます。

2 **「リモコン」をタップする。**

リモコンモードに切り替わります。

memo

◎画面が切り替わるのに10秒程度かかります。

視聴モードに切り替える

リモコンモードから視聴モードに切り替える場合は、以下の操作を行います。

memo

◎視聴モードでは、リモコン操作はできません。

1 **リモコンモードの画面で「視聴モード」をタップする。**

視聴モードに切り替わります。

memo

◎画面が切り替わるのに10秒程度かかります。放送、録画番組、メディア再生は、いずれも経過した時間の箇所から表示されます。

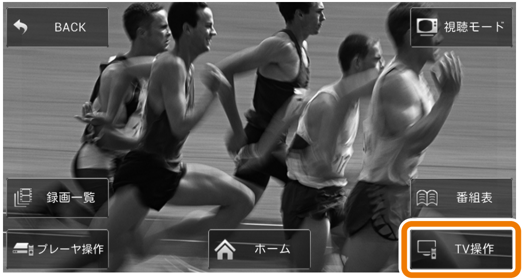
チャンネルを換える

本製品に接続しているHDDレコーダのチャンネルを変更します。

1 **リモコンモードにする。**

リモコンモードに切り替える手順は、「リモコンモードに切り替える」(▶P.32)をご覧ください。

2 **「TV操作」をタップする。**



3 **▲CH(UP) ▼CH(DOWN) をタップしてチャンネルを変更する。**

- 映像を視聴するには、視聴モードに切り替えます。
  →「視聴モードに切り替える」(▶P.33)

memo

◎他にも以下の操作を行うことができます。
- 放送切替
- 音声切替

チャンネルを換える(番組表から選択)

番組表から番組を選択してチャンネルを変更します。

1 リモコンモードにする。

リモコンモードに切り替える手順は､「リモコンモードに切り替える」(▶P.32)をご覧ください。

2 「番組表」をタップする。

HDDレコーダの番組表が表示されます。

3 ↑ ↓ ← → をタップして番組表を選択する。

4 「決定」をタップする。

- 映像を視聴するには､視聴モードに切り替えます。
→「視聴モードに切り替える」(▶P.33)

memo

◎他にも以下の操作を行うことができます。
- サブメニュー表示
- カラーボタン(青､赤､緑､黄)操作

録画一覧を表示する

HDDレコーダ内の録画番組を一覧表示して、見たい番組を選択することができます。

1　リモコンモードにする。

リモコンモードに切り替える手順は、「リモコンモードに切り替える」（▶P.32）をご覧ください。

2　「録画一覧」をタップする。

HDDレコーダ内の録画番組一覧が表示されます。

3　↑ ↓ ← → をタップして番組を選択する。

4　「決定」をタップする。

映像が再生されます。

- 映像を視聴するには、視聴モードに切り替えます。
  →「視聴モードに切り替える」（▶P.33）

memo

◎他にも以下の操作を行うことができます。
- サブメニュー表示
- カラーボタン（青、赤、緑、黄）操作

再生する

HDDレコーダ内の映像を再生します。

1 **リモコンモードにする。**

リモコンモードに切り替える手順は、「リモコンモードに切り替える」(▶P.32)をご覧ください。

2 **「プレーヤ操作」をタップする。**

3 **▶ をタップする。**

HDDレコーダ内の映像が、コマ送り(音声なし)で再生されます。

- 映像を視聴するには、視聴モードに切り替えます。
  →「視聴モードに切り替える」(▶P.33)

memo

◎他にも以下の操作を行うことができます。
- 停止
- チャプタごとにスキップ
- 早送り/巻戻し
- 一時停止
- メディア切替

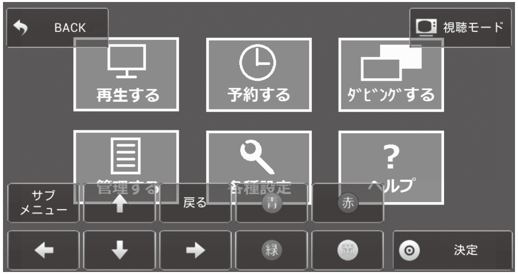
ホーム画面を表示する

HDDレコーダのホーム画面を表示して、HDDレコーダのメニューを利用することができます。

1　リモコンモードにする。

リモコンモードに切り替える手順は、「リモコンモードに切り替える」(▶P.32)をご覧ください。

2　「ホーム」をタップする。



memo

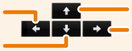
◎ホーム画面の表示はお使いのHDDレコーダにより異なります。

各アイコンの機能について

■リモコン操作画面

アイコン	操作説明
視聴モード	リモコンモードから視聴モードに切り替えます。
BACK	クライアントソフトウェアのトップ画面に戻ります。
録画一覧	HDDレコーダの録画一覧画面を表示します(▶P.36)。
番組表	HDDレコーダの番組表を表示します(▶P.35)。
プレーヤ操作	プレーヤ操作画面を表示します(▶P.37)。
ホーム	HDDレコーダのホーム画面を表示します(▶P.38)。
TV操作	TV操作画面を表示します(▶P.34)。

■録画一覧/ホーム/番組表画面

アイコン	操作説明
サブメニュー	サブメニューを表示します。
↑ ↓ ← →	録画番組、番組表、メニューを選択します。 左へ 上へ 右へ 下へ
戻る	サブメニュー で表示したメニューから一つ前のメニューに戻ります。
青 赤 緑 黄	カラーボタンの操作が表示されているときに使用できます。
放送切替	地上デジタル放送やBSデジタル放送などの放送を切り替えます。(番組表画面のみ)
決定	選択した録画番組、番組表、メニューを決定します。
視聴モード	リモコンモードから視聴モードに切り替えます。
BACK	リモコン操作画面に戻ります。

■プレーヤ操作画面

アイコン	操作説明
	再生します。
	停止します。
	チャプタごとにスキップします。
	早送り/巻戻しをします。
	一時停止します。
視聴モード	リモコンモードから視聴モードに切り替えます。
メディア切替	メディアの切り替えを行います。
BACK	リモコン操作画面に戻ります。

■TV操作画面

アイコン	操作説明
放送切替	地上デジタル放送やBSデジタル放送などの放送を切り替えます。
CH (UP) CH (DOWN)	チャンネルを切り替えます。
音声切替	ステレオ/2カ国語など音声を切り替えます。
視聴モード	リモコンモードから視聴モードに切り替えます。
BACK	リモコン操作画面に戻ります。

その他機能

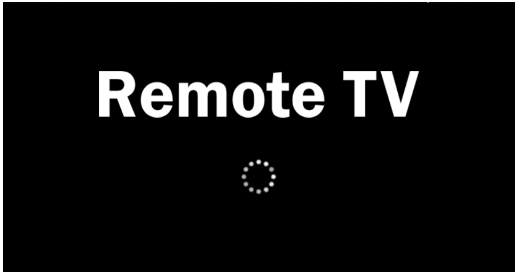
接続するRemote TVを選ぶ......42
クライアントソフトウェアの設定画面を表示する......42
視聴端末を別のRemote TVへ登録する......43
視聴端末の名称を変更する......45
視聴端末を削除する......46
本製品の名称を変更する......47
本製品のパスワードを変更する......48
本製品を再起動する......50
本製品のファームウェアをアップデートする......50
本製品を初期化する......51

接続するRemote TVを選ぶ

クライアントソフトウェアに複数のRemote TVが登録されている場合、クライアントソフトウェア起動時に接続する機器の選択画面が表示されます。

1 クライアントソフトウェアを起動する。

起動方法は「視聴端末と本製品を接続する」(▶P.25)をご覧ください。



2 視聴する映像が録画されている機器を選択する。

クライアントソフトウェアの設定画面を表示する

本製品の設定画面を表示して、名称やパスワードの変更などを行うことができます。

1 視聴モード画面またはリモコン操作画面で「BACK」ボタンをタップする。

2 「OK」をタップする。

視聴を終了して、クライアントソフトウェアのトップ画面に戻ります。

3 「設定」をタップする。

クライアントソフトウェアの設定画面が表示されます。

memo

◎設定画面からクライアントソフトウェアのトップ画面に戻るには、端末の「戻る」キーを押します。設定操作の途中で「戻る」キーを押した場合は、1つ前の画面に戻ります。
※「戻る」キーの位置や名称は、ご利用の端末によって異なります。また端末によっては、画面に「戻る」ボタンが表示されている場合があります。

視聴端末を別のRemote TVへ登録する

Remote TVと接続設定済みの視聴端末を別のRemote TVへも登録する場合は、クライアントソフトウェアの設定画面から登録を行います。

memo

◎1台のRemote TVに対し、視聴端末は最大5台まで登録できます。

◎複数の端末から同時に本製品へ接続することはできません。

◎他の端末が接続中に使用しようとすると、「現在、「XXXX(視聴端末名)」が視聴しています。割り込みますか？」とメッセージが表示されます。「OK」をタップすると、それまで接続していた端末での視聴を中止して、本製品へ接続します。

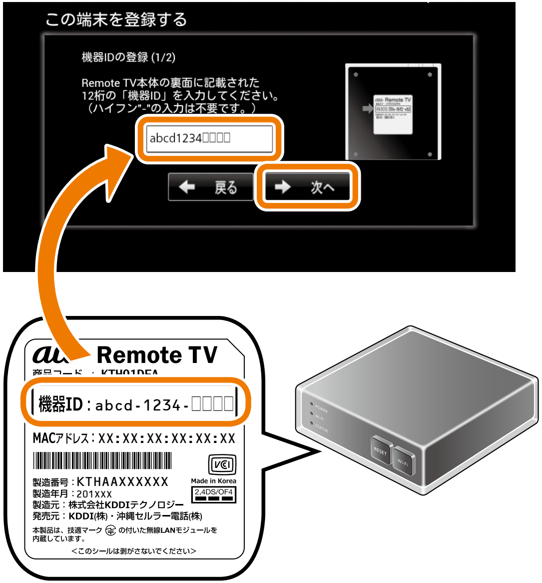
1 クライアントソフトウェアを起動して、設定画面を表示する。

「クライアントソフトウェアの設定画面を表示する」(▶P.42)をご覧ください。

2 「この端末を登録する」をタップする。

3 新しく登録するRemote TVの機器IDを入力する。

底面に記載されている「機器ID」を入力して「次へ」をタップします。

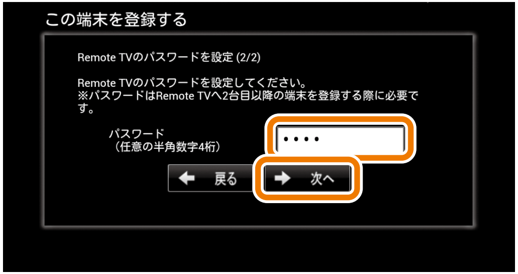


底面

4 パスワードを設定する。

任意のパスワードを設定して「次へ」をタップし、確認のためのパスワードをもう一度入力して「次へ」をタップします。

- 新しく登録するRemote TVにすでに他の視聴端末が登録されている場合は、1台目の視聴端末登録時に設定したパスワード(▶P.27)を入力して「次へ」をタップします。



5 「OK」をタップする。

視聴端末の名称を変更する

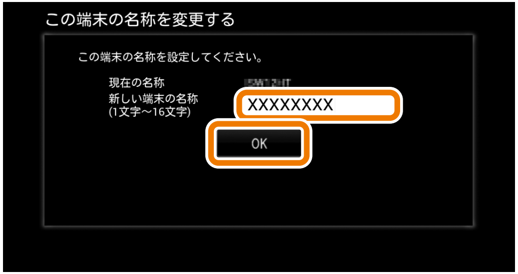
ご利用中の端末の名称を変更します。

1 **クライアントソフトウェアを起動して、設定画面を表示する。**

「クライアントソフトウェアの設定画面を表示する」(▶P.42)をご覧ください。

2 **「この端末の名称を変更する」をタップする。**

3 **端末の名称を入力し、「OK」をタップする。**



memo

◎端末の名称は1～16文字まで設定できます。

4 **「OK」をタップする。**

視聴端末を削除する

ご利用中の端末を本製品から削除します。

1 クライアントソフトウェアを起動して、設定画面を表示する。

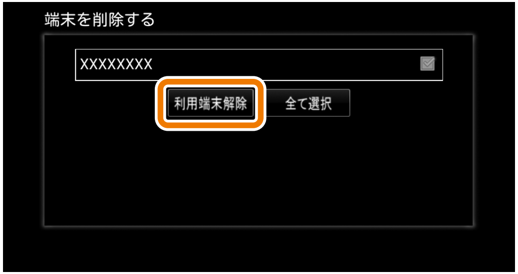
「クライアントソフトウェアの設定画面を表示する」(▶P.42)をご覧ください。

2 「端末を削除する」をタップする。

3 端末の削除を行うRemote TVをタップする。

4 削除する端末をタップしてチェックをつける。

5 「利用端末解除」をタップする。



6 「OK」をタップする。

memo

◎他の端末が視聴中の場合は、変更内容はすぐには反映されません。再度接続を行った際に端末の削除が反映されます。

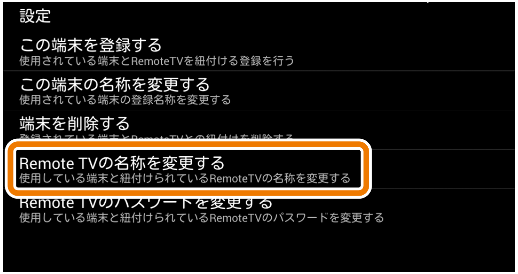
本製品の名称を変更する

本製品の名称を変更します。

1 クライアントソフトウェアを起動して、設定画面を表示する。

「クライアントソフトウェアの設定画面を表示する」(▶P.42)をご覧ください。

2 「Remote TVの名称を変更する」をタップする。



3 名称を変更するRemote TVをタップする。

4 **新しい名称を入力し、「OK」をタップする。**

memo

◎本製品の名称は1～16文字まで設定できます。

5 **「OK」をタップする。**

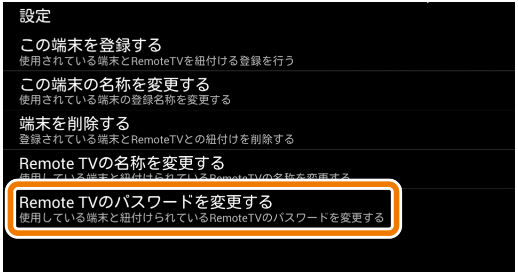
本製品のパスワードを変更する

本製品のパスワードを変更します。

1 **クライアントソフトウェアを起動して、設定画面を表示する。**

「クライアントソフトウェアの設定画面を表示する」(▶P.42)をご覧ください。

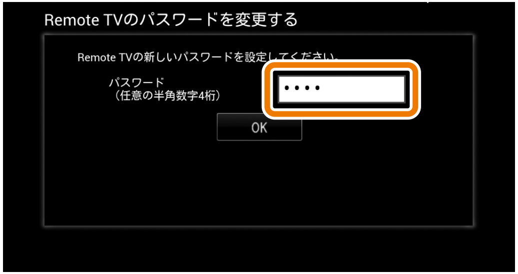
2 **「Remote TVのパスワードを変更する」をタップする。**



3 **パスワードを変更するRemote TVをタップする。**

4 新しいパスワードを入力する。

新しく設定するパスワードを入力して「OK」をタップします。

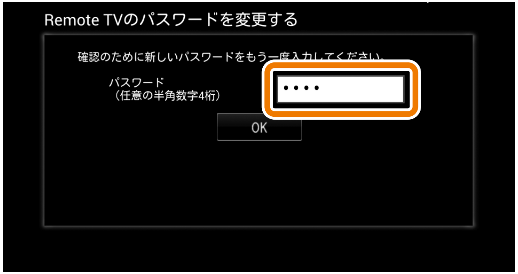


memo

◎パスワードは、半角数字4桁で設定してください。ただし「0000」を設定することはできません。

5 確認のためのパスワードをもう一度入力する。

「OK」をタップします。



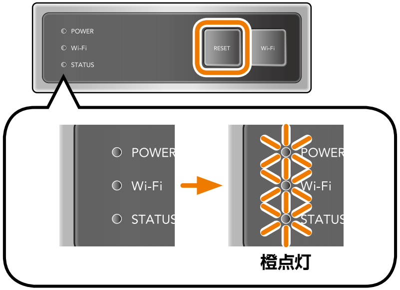
6 「OK」をタップする。

本製品を再起動する

本製品をご使用中に、困ったことやトラブルが発生したときは、本製品を再起動することで問題が解決する場合があります。

1　本製品のRESETボタンを短く押す。

すべてのランプが橙点灯したらボタンから指を離してください。
本製品の電源がオフになり、その後自動でオンになります。



memo

◎POWERランプが緑点灯するまでは1～2分程度かかります。
その間すべてのランプが約5秒間橙点灯し、その後POWERランプが橙点灯します。

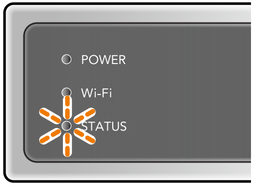
本製品のファームウェアをアップデートする

サーバーからファームウェアのアップデート通知があると本製品のSTATUSランプがゆっくり赤点滅します。
この状態で、本製品のRESETボタンとWi-Fiボタンを同時に長押しすると、ファームウェアをアップデートすることができます。

■ 重要

◎ファームウェアアップデート中は本製品の電源を切らないでください。

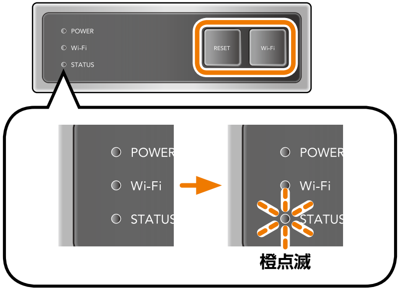
1　本製品のSTATUSランプが赤点滅していることを確認する。



赤点滅

2 本製品のRESETボタンとWi-Fiボタンを同時に5秒以上長押しする。

STATUSランプが橙点滅するまでボタンを押し続けてください。STATUSランプが橙点滅したら、本製品のファームウェアアップデートが始まります。



ファームウェアアップデート完了後は、自動的に本製品が再起動されます。

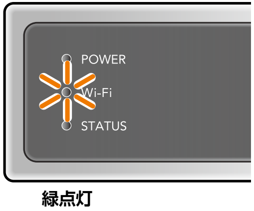
本製品を初期化する

本製品に設定したパスワードを忘れた場合や、本製品に設定した情報を消去したい場合は、本製品の初期化を行ってください。

■ **重要**

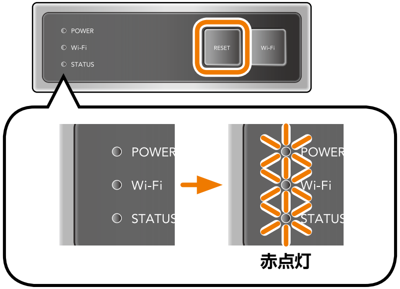
◎初期化を行うと、本製品に登録した視聴端末情報やパスワード、Wi-Fiルータへの接続設定情報などがすべて消去されますのでご注意ください。

1 Wi-Fiランプが緑点灯し、本製品が正常にネットワークにつながっていることを確認する。



2 本製品のRESETボタンを5秒以上長押しする。

すべてのランプが赤点灯するまでボタンを押し続けてください。
すべてのランプが赤点灯したら、本製品の初期化が始まります。



初期化完了後は、自動的に本製品が再起動されます。

memo

◎アップデートしたファームウェアは初期化されません。

付録

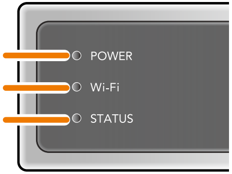
困ったときは........54
アフターサービスについて........58
主な仕様........58
輸出管理規制........59
知的財産権について........59

困ったときは

本製品を設定するときの疑問点や、トラブル／エラーメッセージの解決方法をご紹介します。

ランプの表示について

POWERランプ
Wi-Fiランプ
STATUSランプ



■POWERランプ

ランプ表示	状態
緑点灯	正常に動作中
橙点灯	起動中
消灯	電源オフ状態

■Wi-Fiランプ

ランプ表示	状態
緑点灯	Wi-Fiルータへの接続設定完了
橙点滅	Wi-Fiルータとの接続設定中
橙点灯	機器ID設定中の状態
赤点滅	Wi-Fiルータとの接続設定エラー

■STATUSランプ

ランプ表示	状態
緑点灯	視聴端末に映像を送信中
橙点滅	ファームウェアのアップデート中
赤点滅	ファームウェアアップデートのお知らせ
赤点滅（速い）	ファームウェアのアップデートエラー、初期化エラー
消灯	接続待機中

memo

◎電源投入後、POWERランプが緑点灯するまでは1〜2分程度かかります。
その間すべてのランプが約5秒間橙点灯し、その後POWERランプが橙点灯します。

トラブルシューティング

症状	原因	解決方法
すべてのランプが点灯しない。	ACアダプタが正しく接続されていない。	本製品に同梱されている「初期設定ガイド」の「Step1 機器を接続する」をご覧いただき、ACアダプタが正しく接続されているかをご確認ください。
	同梱品以外のACアダプタを使用している。	本製品に同梱のACアダプタをお使いください。
	延長コードや電源タップを多く使用している。	延長コードや電源タップを使わないで、再度ご確認ください。
	動作不良を起こしている。	いったんACアダプタのプラグを本体から抜き、しばらくしてからプラグを差し直して電源を入れてください。
	本製品が故障している。	本製品の不具合の可能性があります。同梱の「保証書」裏面の「Remote TV 問診票」をご記入のうえ、本製品の修理をご依頼ください。
Wi-Fiランプが点灯しない。	Wi-Fiの設定をしていない。	本製品に同梱されている「初期設定ガイド」の「Step2 Wi-Fiの設定をする」をご覧いただき、Wi-Fi設定をしてください。
Wi-Fiランプが赤点滅している。	Wi-Fi設定が正しく完了していない。	本製品に同梱されている「初期設定ガイド」の「Step2 Wi-Fiの設定をする」をご覧いただき、正しく設定し直してください。
Wi-Fiランプが橙点灯し続けている。	Wi-Fiルータがインターネットに接続されていない。	お使いのWi-Fiルータの取扱説明書をご覧いただき、インターネット回線に正しく接続されているかご確認ください。
	ネットワーク環境に問題がある。	ご利用のネットワーク環境に問題がある可能性があります。本製品のホームページからFAQを参照して、ネットワーク環境に問題がないかご確認ください。
STATUSランプが赤点滅している。	ファームウェアアップデートのエラーが発生している。	ご利用のネットワーク環境に問題があったため、ファームウェアのアップデートが正しく行なわれなかった可能性があります。本製品のホームページからFAQを参照して、ネットワーク環境に問題がないかご確認のうえ、再度ファームウェアアップデートを行ってください(▶P.50)。
	本製品の初期化エラーが発生している。	ご利用のネットワーク環境に問題があったため、初期化が正しく行なわれなかった可能性があります。本製品のホームページからFAQを参照して、ネットワーク環境に問題がないかご確認のうえ、再度本製品の初期化を行ってください(▶P.51)。

症状	原因	解決方法
STATUSランプがゆっくり赤点滅している。	更新が必要なファームウェアがある。	Wi-FiボタンとRESETボタンを同時に5秒以上長押しして、ファームウェアアップデートを行ってください（▶P.50）。
テレビに映像が表示されなくなった。	HDMIのINとOUTの接続が間違っている。	本製品に同梱されている「初期設定ガイド」の「Step1 機器を接続する」をご覧いただき、本製品とテレビ、HDDレコーダを正しく接続してください。
	HDMI IN端子またはHDMI OUT端子の接合部分がしっかりと接続されていない。	HDMI IN端子またはHDMI OUT端子の接続をもう一度確認して、いったんACアダプタのプラグを本体から抜き、しばらくしてからプラグを差し直して電源を入れてください。

エラーメッセージが表示されたときは

エラーメッセージ	解決方法
「機器ID」を確認し、誤りがあれば正しい「機器ID」を入力しなおしてください。 「機器ID」に誤りがなければ、取扱説明書に従い、本体の初期設定を最初からやり直してください。	• 正しい機器IDを入力し直してください。 • 本製品が正しく設置されていない可能性があります。本製品のWi-Fiランプが緑点灯しているか確認してください。緑点灯していない場合は本製品に同梱されている「初期設定ガイド」を参照して、本製品の初期設定を最初からやり直してください。 • 初期設定をやり直しても緑点灯しない場合は、本製品を設置しているネットワーク環境に問題がある可能性があります。本製品のホームページからFAQを参照して、ネットワーク環境に問題がないかご確認ください。
パスワードに誤りがあります。Remote TVのパスワードを入力しなおしてください。	本製品のパスワードを入力し直してください。
パスワードが一致しません。もう一度入力してください。	初回登録時に設定したパスワードを入力し直してください。 パスワードを忘れてしまった場合は、本製品の初期化を行い、初期設定を最初からやり直してください。
Wi-Fiに接続してご利用ください。	iOS端末はWi-Fi以外の通信環境ではご利用できません。Wi-Fiネットワークに接続してご利用ください。
Remote TVに接続できませんでした。(A11)	ご利用のネットワークはインターネットに接続できない可能性があります。ご利用のネットワーク環境をご確認ください。
Remote TVに接続できませんでした。(D17)	
Remote TVに接続できませんでした。(A12)	ご利用のネットワーク環境に問題がある可能性があります。本製品のホームページからFAQを参照して、ネットワーク環境に問題がないかご確認ください。
Remote TVに接続できませんでした。(A13)	

エラーメッセージ	解決方法
Remote TVに接続できませんでした。(A14)	しばらくたってから接続し直してください。
Remote TVに接続できませんでした。(B21) Remote TVに接続できませんでした。(B22)	ご利用のネットワーク環境に問題がある可能性があります。本製品のホームページからFAQを参照して、ネットワーク環境に問題がないかご確認ください。
A/V IN端子に接続されている機器を確認してください。(C36)	• AVケーブルが正しく接続されていない可能性があります。本製品に同梱されている「初期設定ガイド」の「Step1 機器を接続する」をご覧いただき、正しく接続し直してください。 • お使いのHDDレコーダの設定が正しく行われていないか、もしくは本製品の機能に対応していない機種の可能性があります。本製品のホームページからFAQを参照してください。 • お使いのHDDレコーダの主電源がオフになっている可能性があります。主電源をオンにしてください。
HDMIケーブルが検出できないためリモコン機能が利用できません。 映像視聴を開始しますか？(C34)	• HDMIケーブルが正しく接続されていない可能性があります。本製品に同梱されている「初期設定ガイド」の「Step1 機器を接続する」をご覧いただき、正しく接続し直してください。 • HDMIケーブルが接続されていない場合は、リモコン機能を利用することができません。映像を視聴するには、HDDレコーダ側での操作が必要となります。 • お使いのHDDレコーダの主電源がオフになっている可能性があります。主電源をオンにしてください。

エラーメッセージ	解決方法
HDMI IN端子に接続されている機器の電源がONのため、利用されている可能性があります。 接続しますか？	HDDレコーダの電源がすでにオンになっている場合に本メッセージが表示されます。
映像が受信できなくなりました。 再接続しますか？ (B23)	電波状況が良くない可能性があります。続けて発生する場合は、しばらくたってから接続し直してください。
インターネットに接続できません。 電波環境（通信環境）をご確認ください。(A15)	お使いの視聴端末がネットワークに接続できていない可能性があります。ご利用のネットワークの電波環境もしくは通信環境をご確認ください。

アフターサービスについて

■修理を依頼されるときは

修理についてはお客さまセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	保証書に記載されている当社無償修理規定に基づき修理いたします。

memo

◎修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

◎交換した機械部品は当社にて回収しリサイクルを行いますのでお客様へ返却することはできません。

■保証書について

保証書は、お買い上げの販売店で、「販売店名、お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

■アフターサービスについて

アフターサービスについてご不明な点がございましたら、下記の窓口へお問い合わせください。

お客さまセンター

年中無休／オペレータ対応は9:00～20:00

一般電話からは	フリーコール **0077−7−111** （通話料無料）
au電話からは	局番なしの**157** （通話料無料）

主な仕様

■本体

質量	約250g
サイズ（幅×高さ×奥行き）	約100mm×33mm×100mm
インターフェース	AV入力 1系統 HDMI入力 1系統 HDMI出力 1系統 microUSB 1系統
消費電力	約5W
電源	DC 5.0V、1.0A
対応周波数	2.4GHz帯
通信方式	無線LAN（IEEE802.11b/g/n準拠）

■ACアダプタ

入力	AC100V～240V、50/60Hz
出力	DC 5.0V、2.0A
サイズ（幅×高さ×奥行き）	約38mm×38.5mm×39.5mm
周囲温度	5℃～35℃
周囲湿度	35%～85%
ケーブルの長さ	約1m
質量	約60g

※仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令)の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権について

■商標について

本書に記載している会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

- Wi-Fi Certified®とそのロゴは、Wi-Fi Allianceの登録商標または商標です。
- Wi-Fi、WPA、WPSは、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows® XP、Windows Vista®、Windows® 7は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Android、Androidロゴ、Google、Googleロゴ、Google PlayおよびYouTubeは、Google Inc.の登録商標または商標です。
- Apple、Appleロゴ、Mac、Mac OS、Safari、iTunesは、米国その他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
- App StoreはApple Inc.のサービスマークです。
- 商標「iPhone」は、アイホン株式会社の許諾を受けて使用しています。
- IOSは米国その他の国におけるCiscoの商標または登録商標であり、ライセンス許諾を受けて使用されています。
- HDMI(High-Definition Multimedia Interface)およびHDMIのロゴは、HDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。

■Windowsの表記について

本書では各OS(日本語版)を以下のように略して表記しています。

- Windows 7は、Microsoft® Windows® 7(Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate)の略です。
- Windows Vistaは、Microsoft® Windows Vista®(Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate)の略です。
- Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。

■オープンソースソフトウェアについて

本製品は、オープンソフトウェアまたはその他のGNU Library/Lesser General Public License (LGPL) 及び/またはその他の著作権ライセンス、免責条項、ライセンス通知の適用を受ける第三者のソフトウェアを含みます。

■OpenSSL License

【OpenSSL License】

Copyright © 1998-2008 The OpenSSL Project. All rights reserved.

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY,

OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

お問い合わせ先番号

お客さまセンター（通話料無料）

年中無休／オペレータ対応は9:00～20:00

一般電話からは　フリーコール **0077−7−111**

au電話からは　局番なしの**157**

Pressing “zero” will connect you to an operator, after calling “157” on your au cellphone.

上記の番号がご利用になれない場合、下記の番号にお電話ください。（無料）
フリーコール 0120-977-033（沖縄を除く地域）
フリーコール 0120-977-699（沖縄）

2013年2月第1版
発売元：KDDI（株）・沖縄セルラー電話（株）
製造元：（株）KDDI テクノロジー